

学校 教育 目標	「みとめ合い 学び合い 高め合う子」							
	知: 子どもの興味関心を高める授業改善に取り組み、基礎・基本を大切にしながら、課題解決に向けて粘り強くやり遂げる態度を育てます。 徳: 社会のきまりやマナーを守る規範意識を高めながら、善悪をしっかりと判断し、節度や礼儀を大切にすると共に、仲間を思いやる心を育てます。 体: 自他の生命を大切にすると共に、規則正しい生活習慣や食習慣への意識を高め、健康でたくましい体をつくろうとする態度を育てます。 公: 自分らしさを生かして集団に関わり、二谷のまちや人に感謝しながら、社会の一員としてよりよい社会生活を営もうとする態度を育てます。 開: 様々な人々とのコミュニケーションを通して社会への視野を広げ、国際社会や地球環境について考えようとする態度を育てます。							
学校 概要	創立 114 周年	学校長	石川 秀子	副校長	秀徳 能尚	2 学期制	一般学級: 12	個別支援学級: 2
	児童生徒数: 335 人		主な関係校: 栗田谷中学校 青木小学校 幸ヶ谷小学校					

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	栗田谷中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
	栗田谷中学校 青木小学校 幸ヶ谷小学校 二谷小学校	未来を拓き、心豊かに生きる力 ・ブロックテーマに迫るための授業づくり及び小中間での授業参観
< 自分づくりに関する力 > < 問題発見解決能力 >		

中期 取組 目標	○子どもたち一人ひとりを大切に、全職員で信頼され活力のある学校づくりを進めます。
	・子ども一人ひとりが「わかる・楽しい」授業づくりを進め、学力の向上と学習に向かう主体的な姿勢の育成を目指します。 ・誰もが安心して楽しく学校生活を送ることができるようにします。 ・健康な心身をつくるために、望ましい生活習慣や体力づくりに日常的に取り組みます。 ・地域に愛着をもち、地域の一員としてよりよい社会をつくろうとする態度を育てます。

重点取組分野	具体的取組
確かな学力 担当 重点研推進委員会・評価部	①重点研究では、子どもが学び合い主体的に課題解決していくような分かる授業を行うようにする。 ②スキルタイムやチームティーチングを取り入れ、一人ひとりの基礎・基本の定着に努める。
豊かな心 担当 児童支援特別支援部・全かなかよし部	①縦割り活動をさらに充実させ、異学年がかかわり合う場を設定する。②児童が主体の活動によるあいさつ運動によってあいさつの大切さを自覚し進んであいさつができるようにする。③子ども個々が行事や体験学習を通して活躍する場をみつけ自己肯定感をもてるようにする。
健やかな体 担当 体育部・学校運営部	①一校一実践運動で短縄、長縄を取り上げる。児童が自ら、日常的に取り組めるよう、運動委員会を通して、児童主体で計画、運営していく。②学校保健委員会を通して、規則正しい生活リズムや、よりよい生活習慣形成への意識を高める。
学校運営協議会 担当 教務部	①授業参観・学校行事への参加の機会をより多く設定する。②様々な視点から意見をいただき、学校運営の改善に役立てる。
児童指導 担当 児童支援特別支援部	①スタンダードの共通理解し、指導の徹底を全職員で行う。②規範意識を高め、健全な自尊感情を育むために、道徳教育の充実を図る。
特別支援教育 担当 児童支援特別支援部	①より確かな児童理解ができるように職員会議や学年研を工夫して組織的に情報共有や共通理解ができるようにする。②関係機関との連携を図り、合理的配慮やユニバーサルデザインをテーマにした職員研修を行う。③特別支援委員会の定期開催と内容の充実を図る。
いじめへの対応 担当 いじめ防止対策委員会	①児童が安心して過ごせるような学校づくり、学級づくり、授業づくりを進める。②いじめ防止対策委員会の定期的に設け、情報共有を図る。③児童理解研修やいじめに関する研修、児童へのアンケート調査を行ったり、YPアセスメントを活用したりすることで教職員の意識を高め、未然防止、早期発見、早期対応に努める。
人材育成・組織運営 (働き方改革) 担当 教務部・メンター研修	①学年、ブロック等の組織を活用し、日常的に研修に取り組むことで、キャリアステージに応じた指導力の向上を図る。②校内重点研と連動した授業実践を行うことで、授業力の向上に努める。